

地域連携

森田地区まちづくり協議会と
仁愛女子短期大学との連携事業報告

地域活動実践センター長 澤崎 敏文

「森田地区まちづくり協議会と仁愛女子短期大学との連携に関する協定」が平成22年8月30日に締結されました。この協定に基づいて、平成28年度も相互に連携・協力して様々な事業を展開してきました。

1 森田・仁愛女子短期大学連携協議会

「平成28年度森田・仁愛女子短期大学連携協議会」が、平成28年6月24日、仁愛女子短期大学で開催されました。森田地区から林 進一自治会連合会会長他6名が、本学から禿 正宣学長他6名が出席しました。



森田地区の出席者（自治会連合会会長：林 進一、同事務局長：小寺修司、運営審議会委員長：横山芳樹、文化委員会委員長：高木荘治、同副委員長：勝見祐昌、公民館館長：柳原健一、森田公民館主事：吉田智子）



仁愛女子短期大学の出席者（学長：禿正宣、副学長：島田貢明、学生部長：内山秀樹、事務長：吉川

敏通、地域活動実践センター長：澤崎敏文、同主任：木下由香、事務：小角佳子）

協議事項は、平成27年度に実施した連携事業の報告及び平成28年度実施予定の連携事業について行いました。

2 公民館と地域活動実践センターの事務打合せ

事務レベル協議が、平成29年1月25日に仁愛女子短期大学で開催されました。森田地区からは高木荘治文化委員会委員長、吉村公司森田公民館館長、吉田智子公民館主事が、本学から内山秀樹教授、澤崎敏文地域活動実践センター長、木下由香地域活動実践センター主任、小角佳子センター事務が出席しました。打合せ内容は、平成28年度の振り返りと平成29年度実施予定の連携事業等について話し合われました。

3 継続事業

本年度の継続事業には、もりた夢駅～夏物語～（7月10日）、もりたエコキャンドル（7月30日）、森田地区文化祭でのパウンドケーキの販売（10月16日）等があります。

これらの他、森田駅の夢ギャラリー森田に作品展示を実施しました。本年度は本学附属図書館による特別展示「50周年回顧展～建学の頃 昭和40年～45年」



(9月1日～28日)を開催。新聞等でも報道され、多くの方々に知っていただくことができました。

また、本年度も引き続き、学科・専攻やサークルの展示を行いました。生活環境専攻(5月)、生活情報専攻(7月)、附属図書館(9月)、写真サークル(10月)、幼児教育学科(1月)、食物栄養専攻(3月)。

「英語であそぼ」講座を本年度も行ないました。これは26年度から本学生活情報専攻野本尚美講師により、森田公民館にて開始したものです。本年度は、昨年同様に、会場を公民館だけではなく、児童館まで広げて実施しました。回数を増やし、生活情報専攻学生5名の学生もアシスタントとして参加しました。森田第1児童クラブ27名(8月10日)、森田第3児童クラブ19名(8月19日)、森田第2児童クラブ26名(8月23日)、すみれ児童館47名(8月24日)、森田公民館4名(8月26日)と多くの児童の参加がありました。



また、森田地区の方への本学附属図書館の利用サービスも実施しました。本年度は、新規利用申請者7名、利用人数37名、貸出冊数29冊でした。



『図書館利用サービスの説明(九頭竜大学見学时)』

4 森田地区(九頭竜大学)の本学キャンパス見学会

森田公民館では、教育事業の一環として高齢者学級の九頭竜大学を企画しています。本年度はその一環として、7月20日に九頭竜大学の本学キャンパス見学会を実施しました。今年度は澤崎ゼミの中間発表会に参加していただき、発表内容について学生と意見交換をする等、学術的な交流も深めることができました。また、図書館見学、図書館利用サービスの新規登録、学食体験等を行いました。



『授業参加、ゼミの中間発表での意見交換』

5 仁短祭、森田文化祭での模擬店出店

九頭竜大学の方12名による、本学大学祭への模擬店出店が10月15日に実施されました。また、翌日10月16日に森田小学校で開催された森田文化祭には、本学から栄養サークル、写真サークルの学生が参加しました。このように大学・地域の祭に相互参加することで、学生との相互理解・交流が図られました。



『森田文化祭での模擬店出店と交流』